

2023.07.22

福岡37会

脊振山系・背振山(せぶりさん)1055mの

オニコナスビ、ヤマジオウ、アクシバ、オカトラノオ



オニコナスビ
(鬼小茄子)
サクラソウ科



ヤマジオウ (山地黄)
シソ科



アクシバ (灰汁柴)
ツツジ科



オカトラノオ
(丘虎尾)
サクラソウ科

スジグロシロチョウ
(筋黒白蝶)
シロチョウ科

活動データ

🕒 タイム

03:06

🚶 距離

3.6km

📈 のぼり

243m

📉 くだり

243m



🔄 平均ペース

📄 表示

距離

行動時間

日時



ヤマップ活動日記

2023.07.22

背振山(せふりさん) 1055m

08:24

15分

08:39

09:06

6分

09:12

09:16

44分

10:00

10:07

1時間 21分

11:28

11:30

1分

11:31



脊振山 >

テントサイト >

矢筈峠 >

テントサイト >





2023/07/22 8:24
背振山山頂駐車場

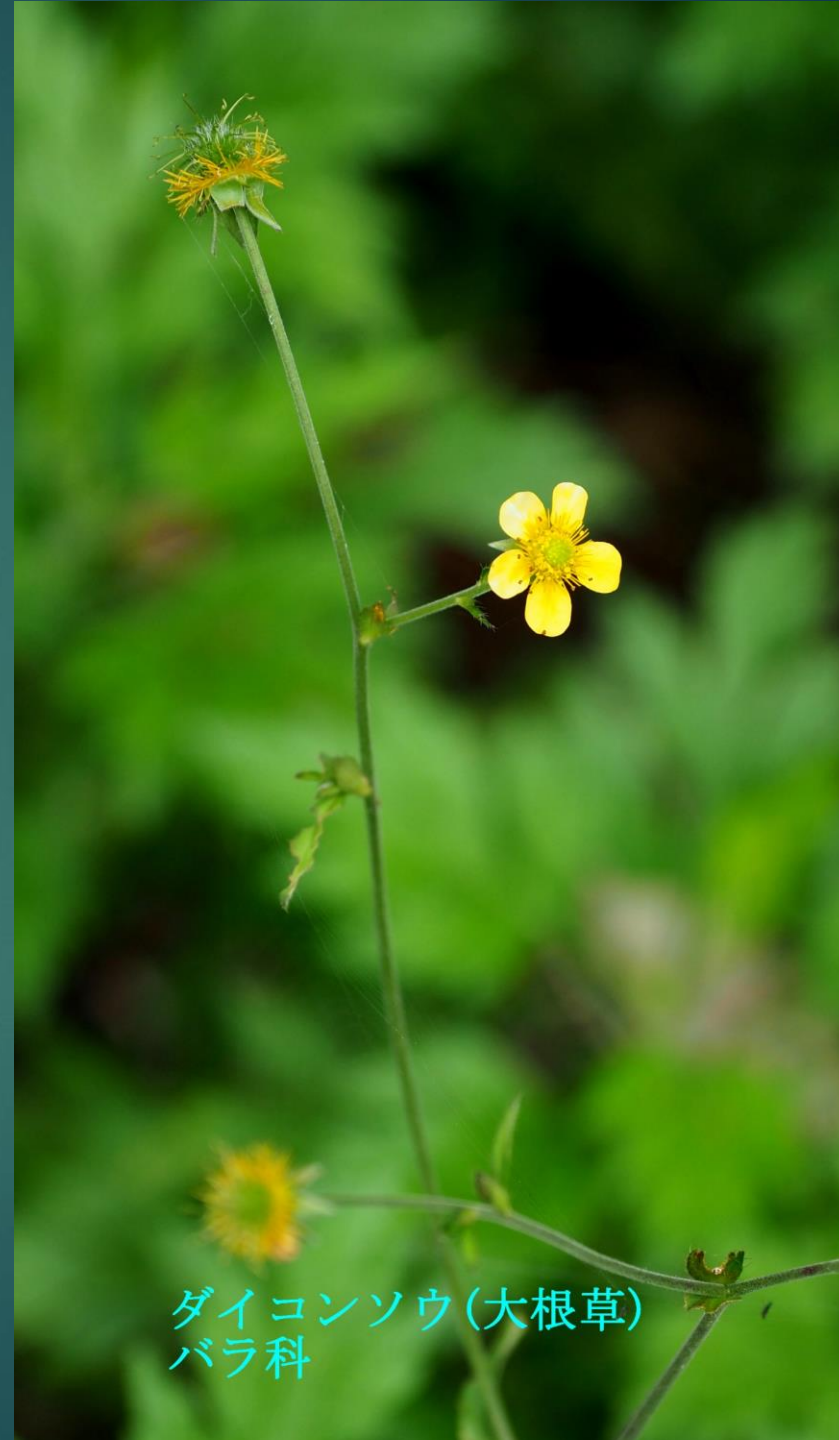




2023/07/22 8:26
背振山山頂駐車場



2023/07/22 8:26



ダイコンソウ(大根草)
バラ科



エゴノキ(劔之木) エゴノキ科
落葉小高木 有毒植物



マユミ (真弓、檀) ニシキギ科 落葉低木
別名：ヤマニシキギ (山錦木)



ネジバナ(掬花) ラン科
別名：モジバナ(掬花)



ウツボグサ(靱草)
シソ科



2023/07/22
8:41

佐賀県遺産 第二〇二一、一号

脊振神社上宮弁財天石宝殿 と関連遺産群

脊振神社は神功皇后の創建といわれ、脊振山頂に位置する上宮には、水の神・弁財天が祀られている。天和年間に始まった国境を巡る農民の争いは、佐賀藩と福岡藩の論争に発展した。元禄六（一六九三）年、佐賀側が勝訴したことを受け、藩主鍋島綱茂が国境を後世に残すべく、元禄十二（六九七）年、石宝殿を建立した。石宝殿は花崗岩を材質とし、内部に弁財天像を安置する。屋根頂部と前面の扉には鍋島家の杏葉紋が施されている。佐賀藩にとって重要な場所であったことを物語る貴重な建造物である。



2023/07/22 8:45



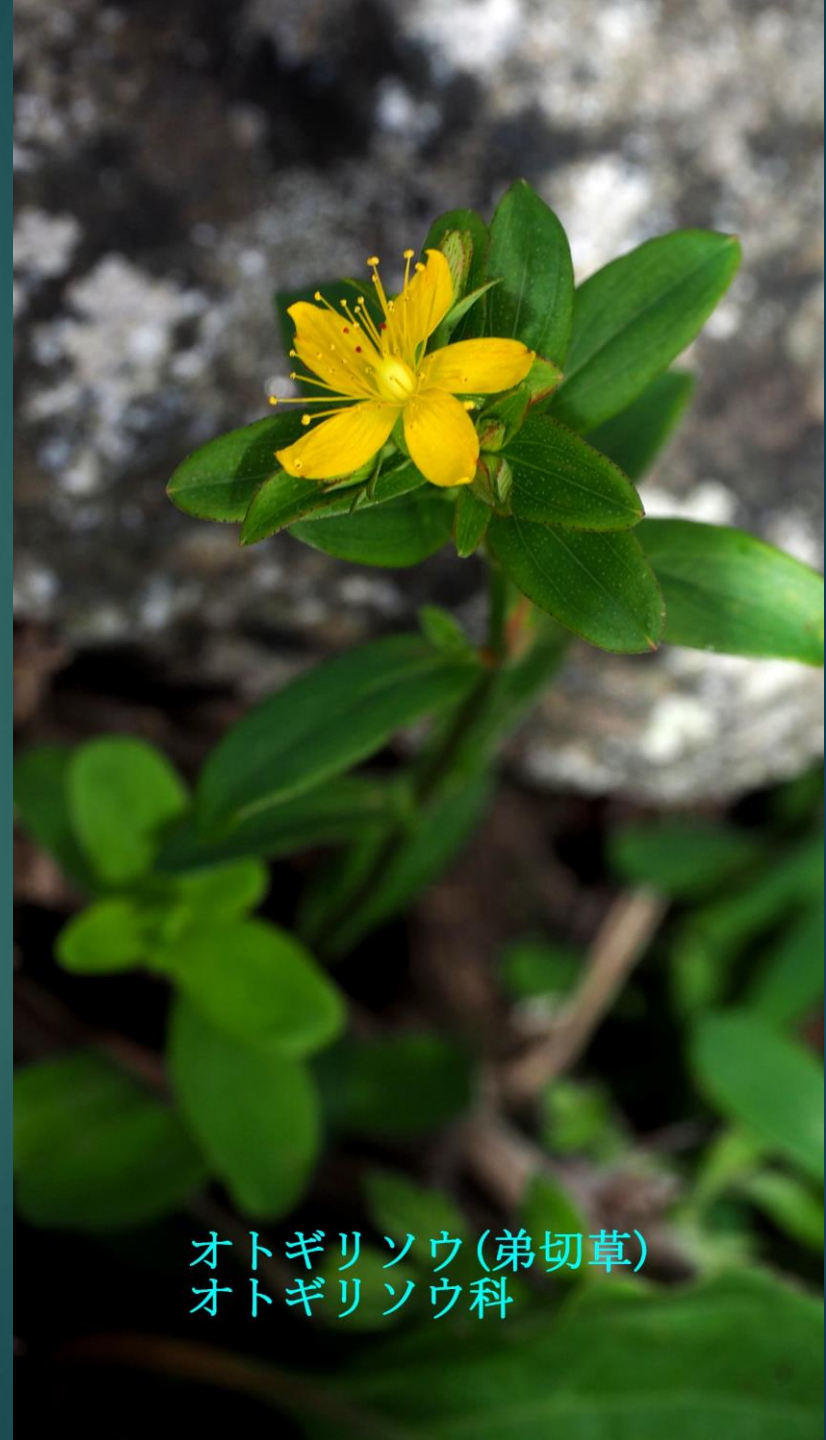
2023/07/22
8:46



コバギボウシ
(小葉擬宝珠)
ユリ科



コオニユリ (小鬼百合)
ユリ科



オトギリソウ (弟切草)
オトギリソウ科



2023/07/22 8:49
背振山(せふりさん)1055m



ホオジロ(頬白) ホオジロ科 L=16cm オス



2023/07/22 8:56
背振山(せふりさん)1055m



2023/07/22 9:00
福岡管区気象台・脊振山レーダー観測所



2023/07/22 8:59
背振ダム



オトギリソウ(弟切草)
オトギリソウ科



ムシカリ(虫狩) スイカズラ科
別名: オオカメノキ(大亀の木)



リョウブ(令法) リョウブ科 落葉小高木



シロモジ(白文字)
クスノキ科



ネジバナ(振花) ラン科
別名：モジバナ(振花)



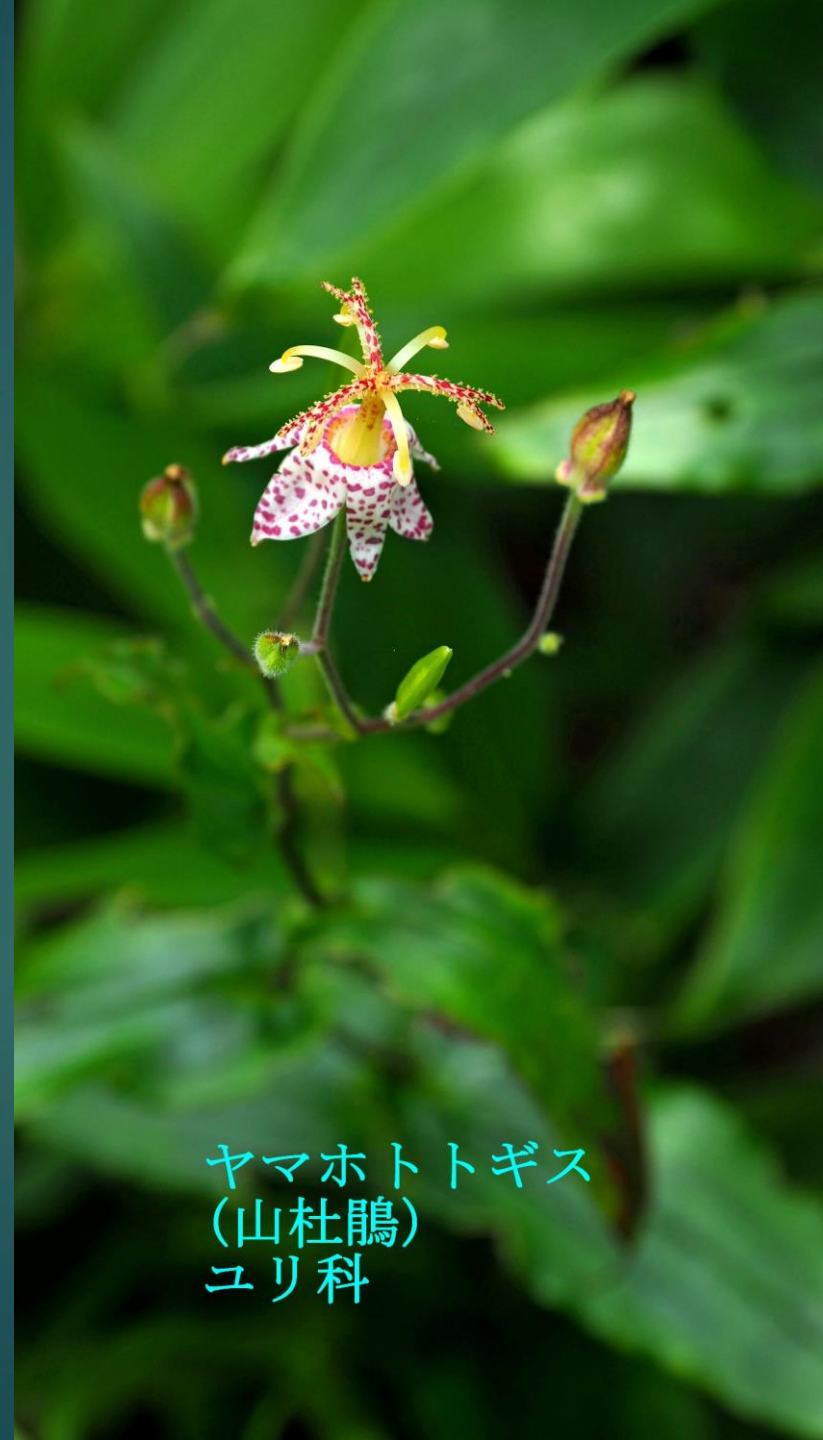
アカショウマ(赤升麻) ユキノシタ科



ヒヨドリバナ(鶉花)
キク科



クマシデ
(熊四手、熊垂)
カバノキ科



ヤマホトトギス
(山杜鵑)
ユリ科



キツネノボタン
(狐の牡丹)
キンポウゲ科



ネジバナ(振花)
ラン科



スジグロシロチョウ
(筋黒白蝶)
シロチョウ科

オカトラノオ
(丘虎尾)
サクラソウ科



アクシバ (灰汁柴) ツツジ科



アクシバ (灰汁柴) ツツジ科



ノリウツギ (糊空木)
ユキノシタ科 落葉低木



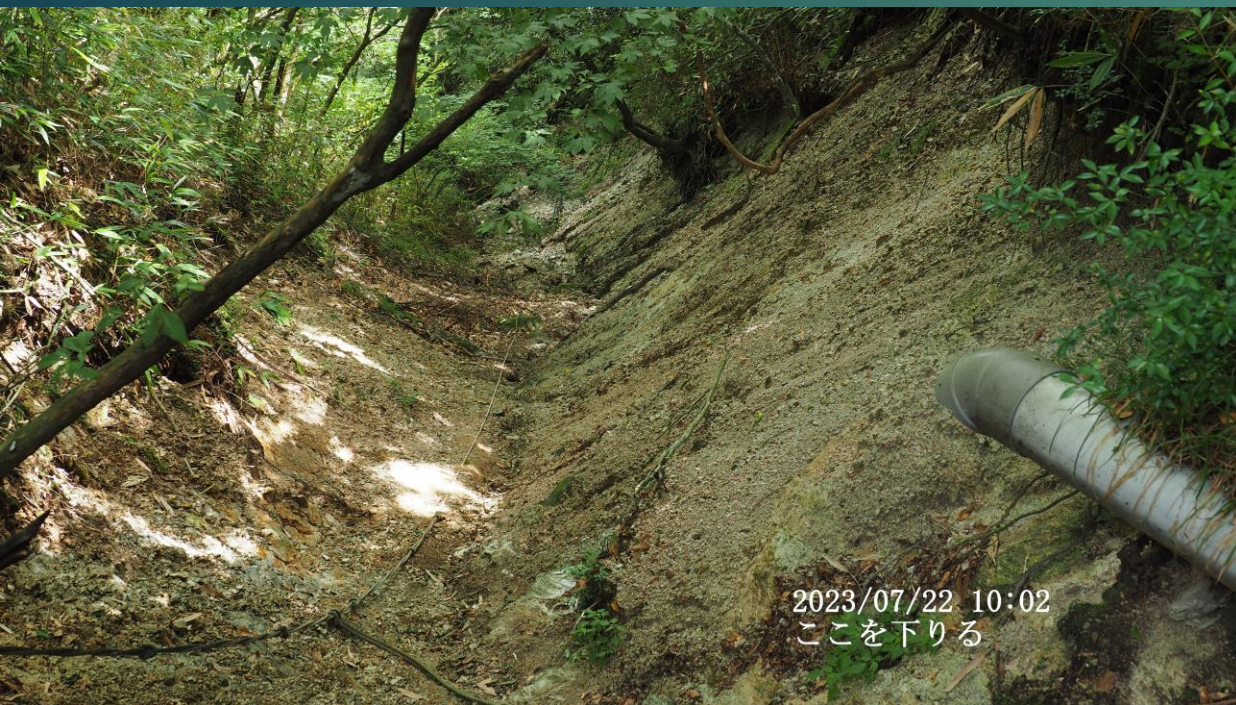
テリハアカショウマ
(照葉赤升麻)
ユキノシタ科



2023/07/22 10:00
矢筈峠(やはずとうげ)905m



2023/07/22 10:01
矢筈峠(やはずとうげ)905m



2023/07/22 10:02
ここを下りる



ヤマトウバナ(山塔花) シソ科



オニコナスビ (鬼小茄子)
サクラソウ科



オニコナスビ (鬼小茄子)
サクラソウ科



オニコナスビ (鬼小茄子)
サクラソウ科



ヤマジオウ (山地黄) シソ科



ヤマジオウ (山地黄) シソ科



2023/07/22 10:41
矢筈峠(やはずとうげ)に戻ってきた



ナルコユリ(鳴子百合)
ユリ科



キンミズヒキ(金水引) バラ科



ミヤマサナエ(深山早苗)
サナエトンボ科

2023/07/22 11:55
背振山山頂駐車場に戻る
3時間06分の行動時間







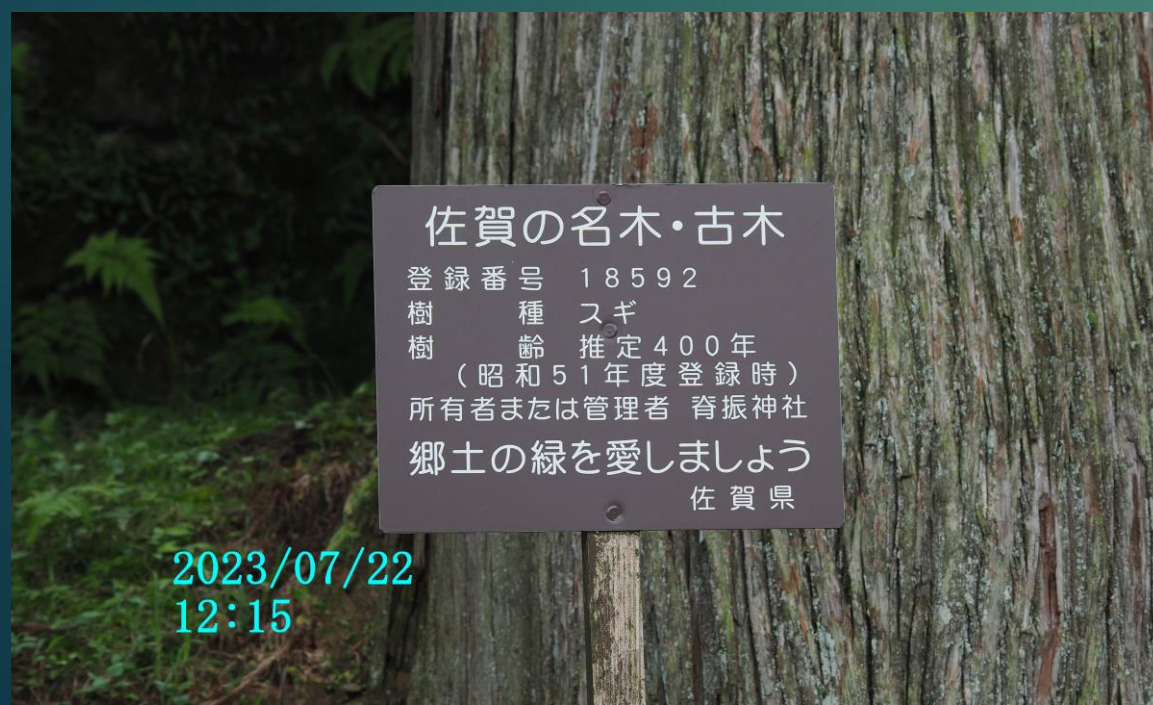
2023/07/22 12:15
脊振神社



左



右



佐賀の名木・古木
登録番号 18592
樹種 スギ
樹齢 推定400年
(昭和51年度登録時)
所有者または管理者 脊振神社
郷土の緑を愛しましょう
佐賀県

2023/07/22
12:15

◎ 背振神社（下宮）由来

日本六所弁財天の一社 「背振弁財天」
といわれ御祭神は市杵島姫命外の女神
弁財天は佛教伝来後合祀されたという
そのお使いといわれる白蛇が境内向って
右側の石窟に棲んでいるので俗に、
「はくじゃさん」とも呼び伝へられている。
神佛混合の昔は同一境内に下宮と多聞
坊東門寺が並び建っていたが、
明治七年の佐賀の乱で焼失し現在の社殿
はその後再建されたものである。
五穀豊穣開運財運の神様として崇敬を
集め県内をはじめ九州一円から、
参詣がある。

例祭は五月三日

採燈大護摩供

十一月三日



2023/07/22 12:18
脊振神社



2023/07/22 12:24



2023/07/22
12:21



2023/07/22
12:32 脊振神社



2023/07/22 12:34
脊振神社駐車場に戻る
21分の行動時間

帰途の
道路脇



コオニユリ(小鬼百合)
ユリ科



2023/07/22 12:56

農産物直売所
マツちゃん



2023/07/22 13:07
産直品を購入

END